

光塩女子学院 親睦会 **2024年度**

三神百花 荒木優見
NPOせいぼ

2024/12/22

第一段落: 準備

第二段落: 当日

第三段落: 今後に向けて

準備

販売商品の価格

コーヒー豆・粉、ドリップバック、ホットコーヒーの価格設定を、ほかの商品とも比較してみんなで意見を出し合い決定しました。

コーヒー豆・粉:1700円

ドリップバック:200円

ホットコーヒー(スリーブ付き):300円

↑設定価格が昨年度に対して、
ホットコーヒーは3倍、ドリップバックは2倍、コーヒー豆は1.5倍(※)となった。

(※)決定時には1700円で販売する予定だったが、相談の結果1500円での販売となった。

理由としては、15円で1食分すなわち、1500円で100人分というフレーズがお客さん呼び込むのによいと考えたため。

- ・ステッカーや広告用ポスターのデザインの作成
- ・説明用ポスターやスライドの作成
- ・移動販売用の箱と、宣伝の看板の作成

宣伝用ポスター



コーヒーで
人を幸せにしよう
NPOせいぼ


場所：2号館2階（2-201）
商品：マラウイコーヒー
ミルク・お砂糖あります！
特典：ステッカーがもらえるかも
（数量限定につきご了承ください）
価格：一杯300円
あなたの一杯で、一粒が、
マラウイの給食支援につながる
是非お越しください！ 2024.11.17.親睦会



Coffee
in Malawi
NPOせいぼ




2号館2階 2-201
マラウイコーヒー
一杯300円
あなたの一杯で給食支援
みんなを幸せにしよう
2024.11.17.親睦会



マラウイコーヒー
2024.11.17
sun.親睦会 **販売中!**

商品：マラウイコーヒー
ミルク、お砂糖あります
意義：あなたの一杯で給食支援を
みんなを笑顔にしよう！
特典：ステッカーがもらえるかも
（数量限定につきご了承ください）
価格：一杯300円
場所：2号館2階（2-201）
あなたがコーヒーを飲むことで
● 幸せになれる人がいます。
● 2-201でお待ちしております。
● 是非お越しください！ NPOせいぼ



Coffee
in Malawi
NPOせいぼ



2号館2階 2-201
マラウイコーヒー
一杯300円
あなたの一杯で給食支援
みんなを幸せにしよう
2024.11.17.親睦会

マラウイコーヒー NPOせいぼ

場所：2-201 2号館2階
価格：一杯300円
意義：あなたの一杯でマラウイに
給食支援をしよう！

2-201でお待ちしています。

2024.11.17親睦会



11月17日(日)直せいぼ

親睦会
2024

2024.11.17.Sun

マラウイコーヒー あなたの笑顔と みんなの笑顔に

2-201 教室
NPO法人(せいぼ)特別講座

コーヒー

種類が多く飲みやすい味わい
ミルクや砂糖のトッピングもできます

300円

その他

コーヒー豆・粉 1700円

ドリップパック 200円

まだまだあった方には特別なおスラッコーもフ
レゼントします！

マラウイ

アフリカで3番目に大きい国であるマラウイ国
があり、「アフリカの良心の心臓」という
愛称と親しみやすい国民性で知られます。

一方で、世界最貧国の一つであり、5歳未満の
子ども4割は慢性的に栄養不足です。
そんな子ども達に栄養が豊富なコーヒー豆を
給食として寄付しています。
おいしい一杯が彼らを助けませんか？



ステッカー



↓実際に使用したもの



説明用ポスター

・マラウイについて

マラウイってどんな国？

世界最貧国の一つ
絶対的貧困率が73.9%
農業生産性が低く、多くの人が
貧困で苦しんでいる

アフリカの
内陸部に位置
している

2人に1人の子どもが
栄養失調
主な原因は食糧不足、栄養バ
ランスの悪い食事

人口
2093万人
子供の割合が半分以上を占め
ており、就学率が低い

・フェアトレード

フェアトレード

今の社会
コスト、値段重視

これからの社会
環境、生産者重視

意味：公正で公平な取引をすること

生産国では何が起きている？

- ① 正額国
コープ・フェアトレード
は10%以上の付加価値
を付与し、農家は1
日1セント
- ② 児童労働
10人に1人が児童労働
- ③ 気候変動
コーヒー栽培は100年までに
10パーセント減少

マラウイコーヒーは？

マラウイコーヒーは2009年にフェアトレード認
証を受けた！！

アタカ通商
CSR調達

マラウイ 日本

適切な値段での取引

安定した生産

安定した収入

FAIRTRADE

・NPO Seibo について

「せいぼ」について

せいぼについて

日本を拠点として給食支援プロジェクトを国際的に実施するNGO。

せいぼの活動

学校給食プロジェクトを対象となっている
現地の共同体と協力して実施。

学校給食は、教育、健康、男女平等の促進、
食料保障そして貧困削減など、多方面の利点がある。



せいぼのしくみ



世界中の貧困を改善する架け橋となる役割を活動目的としている。

マラウイの子どもにとっての役割

子どもたちを給食で支援

子どもたちに基本的な栄養を補う。

子どもたちの教育へと繋げる



日本人にとっての役割

● 中学生 高校生にとって

課外活動となる
小論文を書く際などにも役立つ
カトリック学会の論文への掲載
(2年目までの成果)

● 大学生にとって

社会課題への関心
都内最初の活動場所
→自分にとって自宅や学校以外の
『第三の居場所』となる。
人脈の基盤の提供

ウォームハーツのマラウイコーヒー

栽培環境

マラウイはコーヒー栽培に適した条件が揃っています。生産量が少なく、日本で目にすることは稀ですが、気候を活かした良質なコーヒーが栽培されています。
農薬や化学肥料も使っていないんです！

バナナと一緒に栽培！

コーヒー以外の作物を同時に育てることで、土地を耕し、栄養分がある状態に保つ、間作を行っています。中でもバナナは育つと大きな傘のようになり、湿度を一定に保つので、コーヒーが成長するうえで効果的です。
動物の糞尿を使うことで有機栽培を実現しています。

AAA認証を受けた最高品質のコーヒー

コーヒー豆の品質はAAA、AA、ABの3つに分けられ、そのうちマラウイコーヒーは最も品質の高いAAA認証を受けています！

・Warm Heart Coffee について

濃くて深い味わい

せいぼで販売しているコーヒーは100%アラビカ種で、深煎りで濃い味のコーヒーです。タンザニアやエチオピアのコーヒーの風味にも似ています。
AAA認証を受けたこのコーヒーは舌触り、風味、味わいともに最高です！！！！

焙煎へのこだわりも

焙煎はコーヒー豆の次にコーヒーの味を決める大切な工程
せいぼで販売しているコーヒー豆は、老舗ライブコーヒーで焙煎されています

フェアトレードでサステナブル

- ☆スペシャルティコーヒーで、サステナブルコーヒー
- ・スペシャルティコーヒー

特定の産地の高品質コーヒー豆だけを厳選し、栽培、生産工程、保管、輸送など、消費者の二届くまでのすべての工程に丁寧に気を配る特別なコーヒーのこと

・サステナブルコーヒー

コーヒーの一次加工を行うウォッシングステーションは小規模コーヒー農園が所属する協同組合が管理しています。せいぼで売られているムズズコーヒー協同組合が一次加工した製品を売っています。ムズズコーヒー協同組合は生産者の労働条件や環境基準を守り、コーヒーを生産しています。
2009年に国際フェアトレード認証、2011年に4C認証を取得しました。

最高品質で、美味しさ100点満点
なのに社会全体を良くすることにつながる！！

そんな素敵なコーヒーが、ウォームハーツコーヒークラブが提供するマラウイコーヒーです



・給食支援のサイクル



学校給食支援について

せいぼじゃぱんの活動で、コーヒーの販売などを通して得る寄付は、マラウイの給食支援に繋がっています。

学校給食というものは、子ども達の授業での集中力を高め、知識、知能を高めてくれます。貧困に苦しんでいる家族にとって、このような学校給食の姿は特別なものとなります。

せいぼじゃぱんの理念

世界中の全ての子供たちに、温かい学校給食を届ける！

学校給食支援を通じて、飢餓のない世界を実現する。

説明用スライド

スライド①

せいぼの活動について



マラウイの基本情報

- 人口 約2093万人
- 面積 11.8万平方キロメートル
(日本の約1/3)
- 宗教 人口の75%がキリスト教
- 言語 チェワ語 英語 その他民族語



食事

- 主食 トウモロコシをお湯で溶かして固めて作った「シマ」と呼ばれるもの。
- 魚 マラウイ湖でとれる「チャンボ」が有名。(マラウイ湖はアフリカで3番目に大きい。)
- 肉 鶏肉、山羊肉、羊肉、牛肉、豚肉などの様々な肉を煮込んで食べるのも一般的。



学校給食が持つ力

学校給食があると・・・

- 現地の子供達が**教育**を受けることができる！
- 学校に**通い続ける**ことができる！
→卒業することができる！
- **良い仕事に就く**ことができる
→生活が豊かになる
→自分の子供まで学校に行かせられる！
→**幸せの循環** ➡



私たちは、
マラウイの子供たちの
未来のために活動し、
支援しています。

せいぼの仕組みと活動



世界中の貧困を改善する架け橋となる役割を活動目的としている。

原稿(①のスライド用)↓

担当してくださる方へ

スライドを切り替える場所を書いております！参考にしてください。

長いようなら文章を少し短くしていただいても全然大丈夫です。また、自分なりに台本を変えていただいても全然大丈夫です！

Googleクラスルームにデータをあげておくのでそこで編集してください。

担当して下さり、本当にありがとうございます。

みなさん、ごきげんよう！ (こんにちは)でもオッケー！

これから私たちが携わっているせいぼの活動についてお話しします。

まず、みなさん、マラウイという国をご存知ですか？

聞いたことがある方ー！

マラウイはアフリカの南東にある内陸国で人口約2093万人、面積11.8万平方キロメートル、これは日本の約3分の1の大きさです。また、宗教は人口の75%がキリスト教、言語はチェワ語というマラウイの独自の言語、英語、その他民族語が使われています。

スライド次へ

次は食事についてです。日本とどのような違いがあるのでしょうか。主食はお米ではなく、トウモロコシをお湯で溶かして固めて作った「シマ」と呼ばれるものです。この右の写真が「シマ」です。味はほんのり甘いくらいで食感は餅に似ているそうです。

また、鶏肉、羊肉、やぎの肉、牛肉、豚肉などの様々な肉を煮て食べており、また、アフリカで3番目に大きい湖、マラウイ湖で獲れるチャンボという魚も有名です。右の写真のシマの下に写っているのがチャンボです。

スライド次へ

では、本題。私たちはマラウイで作られたコーヒーを売り、その売り上げをマラウイの子どもたちの学校給食費として寄付しています。学校給食があるとマラウイの子供たちにとってどのような良いことがあるのでしょうか？

それは、現地の子どもたちがよい教育を受けることができるということ、また、給食があることで学校に通い続けることができます。そうすると多くの知識や技術を身につけて卒業できるようになります。卒業ができると良い仕事に就くことができ、生活が豊かになって、自分の子供まで学校に行かせられることができます。幸せの循環ですね！私たちはマラウイの子供たちの未来のために活動し、支援しています。

スライド次へ

では、最後に私たちがお世話になっている「せいぼ」という団体についてお話しします。

せいぼは「お腹を減らしているすべての子どもに給食を！」という長期目標を掲げて学校支援活動に取り組むNGO(非政府組織)団体です。私たちがマラウイコーヒーを買って得たお金や募金などの90%以上をせいぼが直接、必要な場所へ届けています。

必要な場所というのは、マラウイの子どもたちの学校です。せいぼは世界中の貧困を改善する架け橋となる役割を活動目的としています。

スライド次へ

マラウイのコーヒーは品質が良くとてもおいしいスペシャルティコーヒーです。普通に売っているコーヒーよりは値段が高くなりますが、コーヒーにはマラウイの人々の努力があります。また、学校給食を今か今かと待っている人たちがいます。

あなたのその一杯で子供たちの命が救われます。

あなたが、コーヒーを飲むことで幸せになれる人たちがいます。

ぜひ、飲んでみてください！！

ご清聴、ありがとうございました。

スライド②

マラウイコーヒーの 特徴

マラウイ共和国

国旗 MW
言語 英語とチェワ語の二つ

マラウイの位置



マラウイコーヒーの特徴

1.フルーティーな香り

マラウイコーヒーは、香りが特徴です。焙煎日と発送日が同じため、パッケージの上からでも香りが香っているほどです。



マラウイコーヒーの特徴

2.苦味が少ない！

マラウイコーヒーは、苦味よりも甘味が強めなコーヒーです。苦味が苦手な方にも、おすすめです。



マラウイコーヒーの特徴

3.飲み方いろいろ！

コーヒーを飲み慣れていない方には、牛乳、アーモンド、豆乳などで割って飲むのもおすすめです。コーヒーゼリーにしても、香りそのまま残るため、美味しく食べることができます。



音声での説明原稿

皆さんごきげんよう、NPOせいぼです！
中等科こうしゃの2階、2-201でコーヒーを販売しています。

ここで販売されているコーヒーは、舌触り、風味、香り全ての評価でAを取得している最高ランクのコーヒーとなっています。

また、カフェイン酔いがしにくく、コーヒーを飲んだことがない方でも飲みやすいものとなっています。

マラウイは治安が良く、現在紛争は起こっていませんが、子供の半分以上が栄養不足となっている世界最貧国です。

そんなマラウイの現状に、NPOは子供たちが学校で勉強をして働くためにはエネルギー源を蓄える事、つまり食事が第一だと考えました。

コーヒーを1袋買うと、100人の子供たちの給食支援ができます。

給食支援をする事で子ども1食分の食費が浮き、浮いたお金を使って親が子供を学校に通わせることができます。

子供は給食を食べ栄養を摂り、また教育を受けることができるので、職につきやすくなります。

職に就き、お金を稼いだ子どもは、そのお金でマラウイを豊かにすることができます。

一緒にマラウイの子供たちを支援をし、世界の未来を作っていきましょう！

チケット
案として上がり、デザインも作ったが、当日は使用しなかった



お客様の声を聞くためのアンケート

2024 親睦会 アンケート (NPOせいぼ)

1. 何を何個購入されましたか？

(ホットコーヒー / ドリップパック / コーヒー豆)

(個 / 個 / 個)

2. 待ち時間はどのくらいでしたか？

(まったくなかった / 5分くらい / 10分くらい / 20分くらい / 30分以上)

3. 価格設定はどうでしたか？

・ホットコーヒー ・ドリップパック ・コーヒー豆

(高い / 妥当 / 安い) (高い / 妥当 / 安い) (高い / 妥当 / 安い)

4. また購入したいですか？

(はい / いいえ)

5. マラウイの子供たちについて知ることが出来ましたか？

(はい / まあまあ / いいえ)

6. マラウイの子供たちを支援したいと思いましたか？

(はい / まあまあ / いいえ)

7. 説明はわかりやすかったですか？

(はい / まあまあ / いいえ)

8. 展示されているポスターは見やすかったですか？

(はい / まあまあ / いいえ)

9. ご意見・ご感想がございましたら、お書きください。

コーヒーの入れ方

NPOせいぼ マラウイ コーヒー



マラウイコーヒーの特徴

- アフリカ特有のフルーティーさと、豊かな酸味
- 深煎りで引き出されたスパイシーな風味と、大地のコク

おいしいコーヒーの入れ方

1. 豆とお湯の量
 - 豆100gに対してお湯1200ml（豆10g：お湯100mlが基準）
2. お湯の温度（90℃がベスト！）
 - 沸騰したお湯をポットに移して約90℃に
 - 容器を軽く温めておくとGOOD！
3. ペーパードリッパーの準備
 - 三穴式：ペーパーを互い違いに折る
 - 円柱型の場合は折らずにOK
4. 豆の深さ（入れた後の形が重要！）
 - ドリッパーの半分くらいが目安
5. 蒸らし作業
 - 乾いた豆にお湯を少量注ぎ、20～30秒蒸らす
 - 注ぐときは「の」の字を描きながら中心に
6. 注ぎ方のポイント
 - お湯は垂直に注ぎ、壁を作るように高さを出す
7. 仕上げのひと工夫
 - 余分な泡は落とさないように
 - 必要な量を注いだらドリッパーを外す
8. よく混ぜて、香りを楽しむ
 - 空気を含みながらスズズッと味わってください！

販売前・販売中・販売後

授業内で販売前、販売中、販売後に行いたいこととそれによってどのような効果が得られるのかを全員で考えました。以下、実際に出た案です。

販売前

- SNSを有効活用しSeiboの活動を知ってもらう
- 校内放送で宣伝する
- スリーブをつけて、そこにメッセージを書く
- 商品写真をきれいに編集し、お客さんが買いたくなるようなポスターを作る
- 受験生用チケットを説明会などで配布する
- ポスター、スライドなどを用いてマラウイについてお客さんに興味を持ってもらう

販売中

- 笑顔を忘れずに、大きな声で元気に販売する
- お客さんにアンケートを取って、来年度以降に活用する

販売後

- いくら売り上げがあり、そのうちのいくらが寄付に回ったのかをまとめ、校内で発表する場を持つ

共有資料の作成

高2はそれに並行して、マラウイの農園に実際に視察に行ったマラウイの方とオンラインで対談する機会を持ち、実際に今マラウイで困っていることの現地の声を聴くことが出来ました。今現在マラウイで困っていることは、慢性的な栄養失調と、学校の数が足りず多くの子供たちが学校に長い距離を歩いて登校していることです。NPOせいぼの授業内で習ったことと、この対談で学んだことを生かして、当日にお客さんからの質問に答えたり説明したりするための情報をまとめた資料を制作しました。以下資料の内容です。

マラウイ

- ・治安もよく、紛争もないが、アフリカの最貧国の一つ。
- ・人口の半分以上が子供であるため、今後の発展が見込まれる。そのためにも子供たちの未来のために支援が必要。
- ・子供の半数以上が栄養失調。

ミスク農園

- ・マラウイでコーヒー豆の農法におけるフェアトレード認証を受けている。
- ・shadow growing: バナナの木の下の日陰になっているところでコーヒーを育てている。
- ・共作: バナナやジャガイモなどのほかの作物とともに育てているため、土壌の栄養が豊富。
- ・家畜: コーヒー農園ではブタなどの家畜も育て、家畜の糞を堆肥として用いる有機栽培。
- ・

アタカ通商

- ・マラウイコーヒーをミスク農園から輸入している日本の貿易会社。
- ・ほかのコーヒー豆も扱っているため、コーヒー市場での知名度があり、地位が高い。
- ・マラウイコーヒー自体にはまだ知名度がないが、日本におけるマラウイコーヒー市場の確保のために選んでいる。
- ・フェアトレードとして適正価格で購入しているほか、マラウイの農業活動を活発化することで、地域の循環を促すというCSR調達の面でもフェアな取引をしている。
- ・日本フェアトレード協会の定めるフェアトレード認証は受けていない。理由としては、認証には申請資金が必要で、その資金はNPO団体(Seibo)から出るため、その認証にお金を払うのなら、給食支援に資金を回したいと考えているから。

NPO Seibo

•Mission 「お腹をすかしているすべての子供に給食(A Simple Daily Meal for Hungry Child)」を届けるという長期目標のもと、チャリティー文化の育成と飢餓の克服を目指す

•子供たちの未来のための協働。

子供が自分の力を発揮する社会の実現(Helping children realize their full life potential)

- マラウイの子供たちの給食支援を行っている。
- マラウイを支援する活動を日本の中高生、企業とともにやっている。

<給食支援をすることによって、マラウイに与える影響>

•まず、現状として貧困のために児童労働をさせられている子供たちがいる。その子供たちは教育を受ける時間もお金もないため、学校に行けず、安定した職に就くことが出来ない。そのため、その子供たちの子供の代も貧困から抜け出せず、負の連鎖が続いている。

•学校で給食を提供することにより、子供たちが学校に行くきっかけとなる。

→お母さんたちは、1食分用意する必要がなくなり、子供たちの面倒も見ることがないため、稼げるお金が増える。

→子供たちは学校給食によって体を作るための基礎的な栄養を摂取することが出来る。また、学校で教育を受けることで将来安定した職に就くことのできる確率が上がる。

→安定した職に就き、豊かな家庭を築くことが出来れば、その子供たちは学校に行き教育を受けることが出来るため、どんどんと良い方向に循環していく。

<給食支援をすることによって、日本の子供たちに与える影響>

•学校の活動などでマラウイの子供たちについて学ぶことで、世界で今起きている問題を知ることが出来る。

•マラウイの子供たちを給食支援するためのコーヒー販売について、どうしたら子供たちの支援ができるのか？多くのひとに興味を持ってもらえるか？たくさん販売することが出来るか？と考えることが学びにつながる。

- ・日本のカトリック学校同士のつながりになる。例えば、カトリック学会の論文に取り上げられるなど。光塩での活動も2年目に突入して、これまでの活動をカトリック学会でK3の先輩が発表し論文に取り上げられました。

フェアトレード

- ・商品を購入してもらい、その利益が労働者の適正な賃金、公共施設棟建設費用、給食支援などに使われることで、発展途上国の労働者の生活向上、子供の貧困・教育問題の改善、町のインフラや公共施設の整備を推進し、環境に配慮した栽培が可能となる。

SDGs

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

CSR調達

- ・Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)
- ・企業は社会があるからこそ成り立つものであるから、環境や人権の要素も配慮して相手を選ぶ必要がある。
- ・企業は働き手の給料や原材料、借ったお金を返すために「儲けなくてはならない」「赤字経営をしてはいけない」ということが前提条件にある。
- ・商売の鉄則「安く買って高く売る」
- ・近江商人の三方好「売り手よし、買い手よし、世間よし」
- ・フードロスや大量廃棄は、消費者の利便性や企業の経済合理性の過疎な追及が原因
- ・20C 21Cの急激な人口爆発により、地球の資源は圧倒的に不足している。
→今現在の生活を維持するには、地球1.6個分資源が必要
→「経済的な利益」のみを追求していくと、将来にわたっての「豊かさ」を維持できない
- ・仕入れ先のさらに仕入れ先までさかのぼって人権問題を調査すること(人権デューデリジェンス)が2020年ごろから世界で行われ、日本でも最近から行われるようになった。ただし、取り組みにかかるコストが原因で日本ではあまり進んでいない。
- ・自分だけでなく全体の利益のためにパートナーシップを結ぶことが大切。

< 現在世界で起こっている問題 >

- 2000人に1人が強制労働(2490万人)や強制結婚(1540万人)を強いられ、現代奴隷と呼ばれている。
- 世界の子供たち(5歳~19歳)のうち児童労働しているのは10人に1人(2020年時点で1億6000万人)
- 児童労働させられている子供たちのうち半数は問題のある労働に従事している。

e.g.)

- 暴力による制圧

→インドネシアで東南アジアの漁師たちが監禁され暴力を受けて強制労働させられていた

→1997年 NIKE のインドネシアやベトナムの下請け工場の子供を誘拐し日常的に児童労働が行われていたことが発覚(NIKEは契約工場だと弁明したが、不買運動や訴訟問題で売り上げの25%を失った。)

* 契約工場:別会社であるため、環境や賃金などの労働条件を含めた経営に口出しできない。

- 長時間低賃金労働(搾取工場)
- 安全でない場所での労働

→2013年 バングラデシュでラナプラザ崩落事故が発生

→耐震性を無視した増築が行われたことが崩落の原因

→有名なファッションブランドの工場が入っており、そこで若い女性たちが働いていた。「翌日まで帰宅するな」という命令のために女性たちは避難できず多くの女性たちが亡くなった。

- 放射性物質などの危険物質を扱う労働

→コンゴの鉱山で14歳未満の子供たちが日給82円で未装備でのコバルト採集を行っている。コバルトは放射性物質であり、粉塵を吸い込むことによって体内被曝を起こす。

親睦会前 縦割り

午前と午後の係と、それぞれ販売担当・説明担当・コーヒーを入れる担当の3つの部署に分かれました。

親睦会前 最後の授業

前回に決定したコーヒー豆の価格が想定よりも高かったため、付加価値をつけるためにどうしたらよいかを考えました。

前日準備

高2は8:20に登校し、朝礼前に山田さんと重岡先生とともにミーティングを行いました。事前に制作した資料の内容を確認しました。

コーヒー豆・粉の価格を1700円から1500円に引き下げることを決定し、看板を制作の段階から、~~1700円~~ →1500円に変更しました。

理由としては、1000円を超えるコーヒー豆はちゃんと高い豆であり、売り切れるかどうか不安が残ったため、また15円で一食分のため、1500円にして100人分とするほうがキャッチコピー的に良かったからです。

先輩たちに各部署での制作をお願いする前に、マラウイとSeiboの活動について復習し、落ち着いて各部署が活動できるようにすると良い、というアドバイスをいただきました。

・朝礼後、全員が揃ったらアドバイス通り授業の復習を行い、縦割りの日と前回の授業で決めた各部署に分かれて作業しました。看板制作、売り歩き用箱制作、ポスター制作、宣伝用音源(原稿も)制作、スリーブ制作の5部署と高2はドリップバックを100単位ずつに分ける作業に分けられました。



昼食後、各作業が終わり次第、C2Aの教室へ移動し机の配置と掃除を行いました。

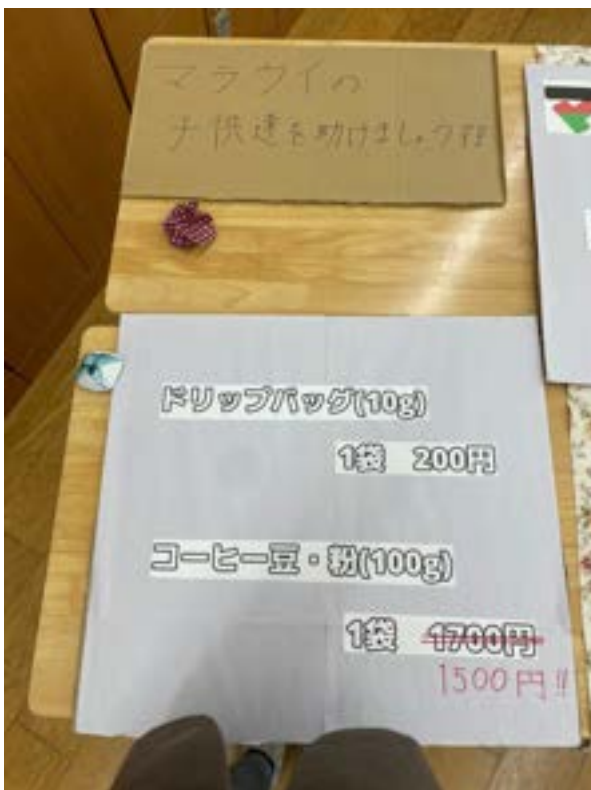


当日

午前と午後に担当者を分け、説明・販売・コーヒーを入れる人の3部署で動いた

- ・9:30から販売スタート
- ・10:30頃、コーヒー豆・粉が売り切れ、移動販売スタート
- ・11:30頃、ホットコーヒーが売り切れ(粉とカップがなくなったため)
- ・12:00～12:10、午前と午後の係の交代
- ・午後、ドリップコーヒーのみの販売(半分ほどは2組の移動販売によるもの)

↓当日の様子





今後に向けて

昨年度よりも売上げが2倍以上になったから、とてもよかったと思う
売上げ:43万6400円（2024年）

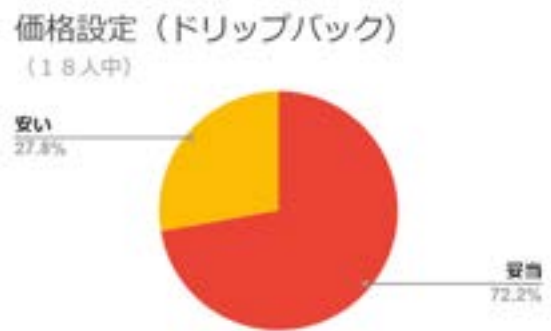
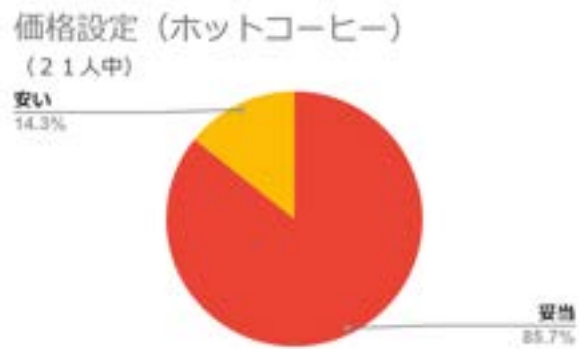
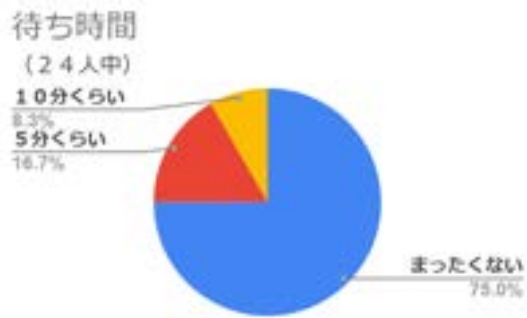
反省点

- ・カップやコーヒーを入れるときのドリップポット、砂糖・ミルク等がなかった
- ・作れたホットコーヒーの数よりもはるかに多いスリーブを準備してしまった
- ・ホットコーヒーを入れるスピードが間に合わず多くのお客さんを待たせてしまった。また、それによって列が2列になり、教室に購入しに来た人が混乱してしまった。
- ・コーヒー豆・粉が序盤で全て売れてしまい、後から購入しようとしてくださった方に売ることができなかった。
- ・午後にドリップパックしか売の商品がなく、コーヒーを入れる担当の人たちの仕事がなくなってしまった
- ・お客さんがコーヒーを購入してすぐに教室を出してしまうことが多く、あまり説明ができなかった。

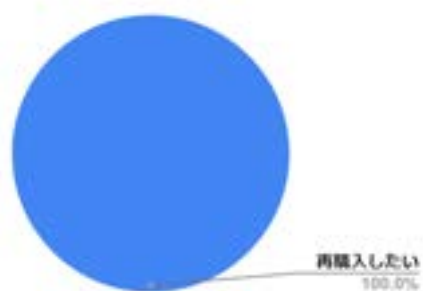
<係生徒からの意見>

- ・コーヒーを売っている時にお客さんを待たせたりしてしまったこと
- ・教室内の順路がはっきりしていなかった。
- ・コーヒー豆と粉の価格の違いがわかりにくかった。
- ・コーヒーについてのスライドは完成していましたが、原稿が完成していなかったこと
- ・活動にあまり参加できなかったこと
- ・コーヒーを売る動線がスライドに被らないようにする
- ・商品が売り切れたのが早かったのもので、その後の販売方法などをもう少し細かく考えていた方が良かったと思いました。
- ・親睦会当日販売時にものを注文する列とコーヒーをもらう列がごちゃごちゃになっていたことです。
- ・淹れたてのコーヒーの量をもう少し、多くしたらいいかなと思いました。でも、全て売れて嬉しかったです。
- ・コーヒーの豆がすぐに売り切れてしまっていて午後に残っていなかった。
- ・コーヒーのカップが少ない。午後にお客様にコーヒーを出せなかった。

お客様の声を聴くためのアンケートの結果



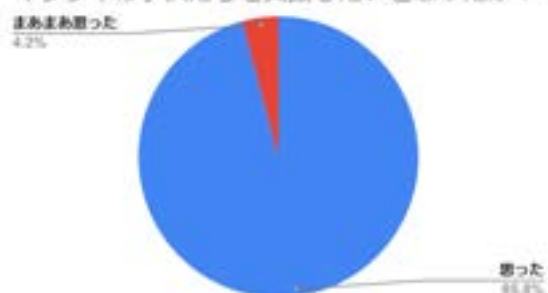
再購入



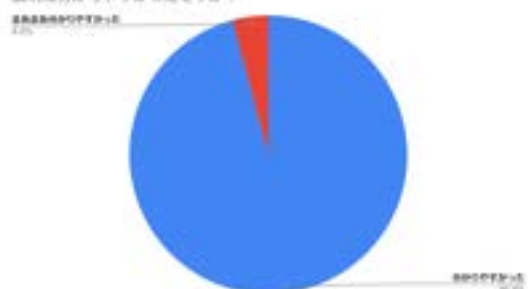
マラウイの子供たちについて知ることができたか？



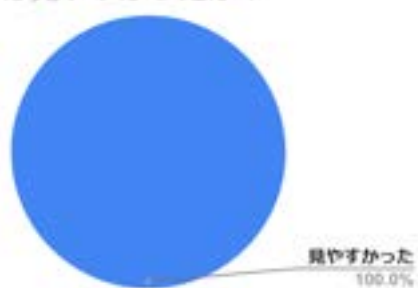
マラウイの子供たちを支援したいと思ったか？



説明は分かりやすかったですか？



ポスターは見やすかったか？



お客様の意見(改善点)

- ・次回は牛乳と砂糖を準備してほしいです
- ・スリーブが少し大きすぎて危ない
- ・エンドレスで説明をリピートした方が良い。マラウイの曲などの音楽入りとかはどうですか？
- ・プロジェクターが少し見にくいと思ったけど、内容良いと思った。

お客様の意見(良かった点)

- ・貴重な一杯を頂けてよかったです。
- ・とてもおいしかったです。
- ・飲みやすい味で何度でも飲みたくなりました。おいしかったです。
- ・おいしかったのでどんどん世の中に広めてほしいです。
- ・苦味・酸味 バランスの良い 本当においしいコーヒー ありがとうございます
- ・説明も簡潔にまとめられていてよい。スライドが見やすいです。
- ・発表しているお嬢様の説明が聞きやすかったです。
- ・皆さんの情熱あふれる展示と声掛けや説明に心打たれました！とっても素敵なブースですね。購入したおいしいコーヒーを飲みながら、皆さんとマラウイに思いをはせたいと思います！お疲れ様です！！
- ・スライドも見やすく工夫されていてとても分かり易かったです。疲れ様です
- ・素敵な企画だと思います。もっと色々な所 機会で販売してもよいと思います。保護者の中でもほ
しいという人がたくさんいるはずです。応援しています！！
- ・とても素敵な活動だと思います。これからもこの活動を続けてもらえたらと思います。頑張ってください。少しでも応援出来たら嬉しいです。
- ・ドリップが大変上手だと思いました。

係生徒へのアンケートの結果

昨年度もNPOの活動をしていたか？



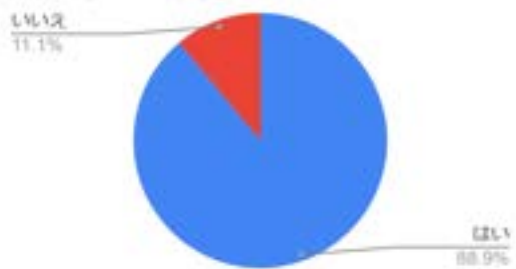
今回販売して楽しかったか？



事前準備は十分にできたと思うか？



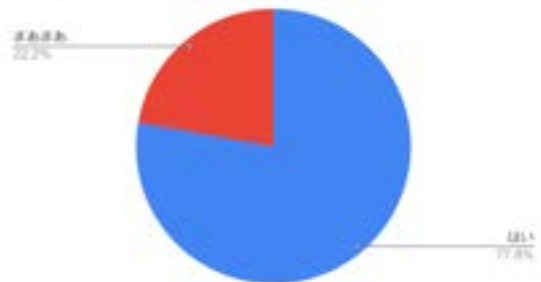
当日しっかり働けたか？



マラウイの子供たちについて理解できたか？



NPO Seibo について理解できたか？



来年度に生かせること

- ・ホットコーヒーを作るスピードを上げる。もしくは〇時からの回などに分け、午後にも売れるようにする
- ・コーヒー豆・粉は2000円でも売れたと思う。また、もっと量があった方がよい
- ・移動販売が2組くらいあると、係等で買いに来られないような先生がたやSeiboの活動を知らない人にも買って頂ける
- ・カップは大きさのあったものを多めに準備する
- ・ミルクや砂糖などコーヒーの苦手な人でも飲めるように配慮する
- ・当日に必要なものは前もってリストアップして共有し準備する

<係生徒からの意見>

- ・去年のやった時みたいに、ポスターを大きく書いて、マラウイのことについて2.3枚書いたのをロッカー辺りに貼ったらいいと思います。私の母から言われたのは、去年はポスターがあって、それを読んでいたらすぐに買う順番になったので、去年の方が少し楽しかったと言っていました。
- ・もう少しコーヒー豆と粉の量を増やした方がよいと思う
- ・装飾が少なかったと思うので、来年からもう少し増やしてみてもいいと思いました。
- ・その場で飲めるコーヒーの量を増やしたほうがよい
- ・来年はもっとコーヒーを売る！
- ・午前中に売り切れてしまったものが多かったので、商品をもう少し多く用意した方がよいと思いました。
- ・並ぶ列をしっかりと分けて、コーヒーが売り切れてしまったり余ったりしないように今回の売上を来年度につなげて活かす。
- ・今回の親睦会、とても楽しかったです。良い経験となりました。

ポスター作りを通してNPOせいぼの活動を深く調べることができて楽しかったです。

- ・マラウイコーヒーのドリップコーヒーを5個セット、10個セットなどを作って一気に売ったらもっと売れる個数も増えるし、買いやすくなると感じる。
- ・コーヒーの豆がすぐに売り切れてしまったので午前の分、午後の分、と分けて全ての商品がある状態にした方がよいと思う。もちろん、午後に売れ残らないように午前中の分を多くしておいた方がよいと感じる。